

- 問1 室町時代に活躍した人物で、中国から帰国した後に、墨の濃淡だけで風景や生き物を表現する「水墨画」を日本独自のものとして完成させた人はだれでしょう。
- 問2 13世紀に中国を支配し、日本も支配しようとして攻めてきた国はどこですか。
- 問3 源頼朝が鎌倉に開いた、武士の政権を何といいますか。
- 問4 室町時代に、団結した農民たちが、重い年貢などに反対して起こした反乱のことを何といいますか。
- 問5 鎌倉時代に始まった二毛作は、主に日本のどの地域で行われましたか。
- 問6 1467年に京都で始まり、有力な大名たちが11年もの間、争い続けた戦いを何といいますか。
- 問7 足利義政が将軍だったころ、京都で大きな戦乱が起こり、町が荒れてしまいました。この戦乱を何といいますか。
- 問8 鎌倉時代に、吉田兼好（兼好法師）によって書かれた随筆は何ですか。
- 問9 鎌倉時代に広まった、わかりやすい教えを持ち、武士や農民の間に広がった仏教のことを何と呼びますか。
- 問10 3代将軍の足利義満が、明（中国）との間で勘合貿易を行った主な目的は何ですか。
- 問11 日本に攻めてきた「元」は、もともとどの地域の一部の人々が中国を支配してつくった国ですか。
- 問12 平氏をたおすために兵をあげ、1192年に征夷大将軍に任命されて鎌倉幕府を開いた人物はだれですか。
- 問13 室町幕府の3代将軍で、中国の明（みん）との貿易を行い、京都の北山に金閣を建てた人物はだれですか。
- 問14 室町時代に雪舟によって大成された、墨の濃淡で描かれた絵画を何といいますか。
- 問15 室町時代に観阿弥・世阿弥の父子によって大成された、仮面などを用いて演じる伝統芸能は何ですか。
- 問16 室町幕府の8代将軍で、京都の東山に「銀閣」を建て、独自の文化を広めた人物はだれでしょう。
- 問17 一向一揆は、どのような人たちが団結して起こした一揆ですか。
- 問18 銀閣の敷地内にある東求堂に見られる、ふすまや障子、畳などが使われた、現代の和室のもとになった建築様式を何といいますか。
- 問19 平家物語は、どのような人たちによって人々に語り伝えられましたか。
- 問20 東大寺南大門にあり、鎌倉時代の力強い文化を代表する彫刻の名前は何かですか。
- 問21 将軍と御家人は、どのような関係で強く結びついていましたか。
- 問22 鎌倉時代の力強い文化を代表する彫刻である金剛力士像は、どこのお寺の南大門にありますか。
- 問23 室町時代に広まった「下剋上」とは、どのような動きや風潮のことですか。
- 問24 守護大名とは、どのような幕府の時代に、どのような人が大きな力を持つようになったものですか。
- 問25 室町幕府の3代将軍である足利義満が、明（中国）との間で行って大きな利益を得た貿易を何といいますか。

## 答え合わせ・解説 No.4

問1	答え 雪舟	雪舟は室町時代の僧であり、高い技術を持って中国から日本へ帰り、日本らしい独自の画風で水墨画を完成させました。墨の色の濃い・薄いを使い分けて風景などを描き出すその技法は、その後の日本の芸術に大きな影響をあたえました。
問2	答え 元	13世紀に中国を支配したモンゴルの一部の国で、日本を支配しようと攻めてきた国は「元」です。
問3	答え 鎌倉幕府	源頼朝が鎌倉に開いた武士の政権を鎌倉幕府といいます。
問4	答え 土一揆	団結した農民たちが、重い年貢などに反対して起こした反乱を土一揆といいます。
問5	答え 西日本	二毛作は、鎌倉時代に西日本で行われた農業の方法です。
問6	答え 応仁の乱	1467年に京都で起こり、11年間も続いた有力大名どうしの争いを応仁の乱といいます。
問7	答え 応仁の乱	足利義政の時代に、後の将軍の座や有力な大名の家督相続をめぐる、京都を中心に「応仁の乱」という長期間の戦いが起きました。この戦いにより京都の町は大きく荒れてしまい、室町幕府の力も弱まってきました。
問8	答え 徒然草	鎌倉時代に吉田兼好（兼好法師）によって書かれた随筆は「徒然草」です。
問9	答え 新しい仏教	鎌倉時代には、それまでの難しい仏教とは異なり、武士や農民にも理解しやすい「新しい仏教」が広まりました。
問10	答え 貿易によって利益を得るため	足利義満は、明（中国）との間で勘合貿易を行うことで、大きな利益を得ました。
問11	答え モンゴル	元は、モンゴルの一部の国が中国を支配してつくった国で、日本にも攻めてきました。
問12	答え 源頼朝	源頼朝は、平氏をたおすために立ち上がり、1192年に征夷大将軍となって鎌倉幕府を開きました。
問13	答え 足利義満	足利義満は室町幕府の全盛期を支えた将軍です。対外貿易による利益を活用し、北山文化を代表する建築物である金閣を建てました。ちなみに、銀閣を建てたのは8代将軍の足利義政ですので、混同しないように注意しましょう。
問14	答え 水墨画	室町時代に雪舟によって大成された、墨の濃淡で描かれた絵画を水墨画といいます。
問15	答え 能	室町時代に観阿弥・世阿弥の父子によって大成された、仮面などを使って演じる伝統芸能を「能」といいます。
問16	答え 足利義政	足利義政は、室町時代の中ごろに活躍した8代将軍です。京都の東山に銀閣を建て、当時の文化である「東山文化」の中心となりました。ちなみに、金閣を建てたのは3代将軍の足利義満です。
問17	答え 浄土真宗（一向宗）の信者たち	一向一揆は、浄土真宗（一向宗）の信者たちが団結して起こした一揆です。
問18	答え 書院造	銀閣の東求堂に見られる、ふすまや障子、畳などを使った建築様式を書院造といい、現代の和室のもとになりました。
問19	答え びわ法師	平家物語は、びわ法師と呼ばれる人たちによって、語り伝えられました。
問20	答え 金剛力士像	東大寺南大門にある金剛力士像は、鎌倉時代の力強く生き生きとした文化を代表する有名な彫刻です。
問21	答え 「ご恩」と「奉公」の関係	将軍と御家人は、「ご恩」と「奉公」という関係で強く結びついていました。
問22	答え 東大寺	金剛力士像は、奈良県にある東大寺の南大門に置かれており、鎌倉時代の力強い文化の特徴を表しています。

---

<b>問23</b>	<b>答え</b> 実力のある者が、上の身分の者にとって代わる動き	下剋上は、身分が下であっても実力がある者が、上の身分の者にとって代わる動きや風潮のことです。
<b>問24</b>	<b>答え</b> 室町幕府において、大きな力を持つようになった有力な守護	守護大名は、室町幕府の時代に、大きな力を持つようになった有力な守護のことです。
<b>問25</b>	<b>答え</b> 勘合貿易	3代将軍の足利義満が明（中国）との間で行った貿易を「勘合貿易」といいます。

---